



6月の予定

〈公〉中央公民館 〈農〉農業者トレーニングセンター
〈町〉町民会館 〈さ〉さんさん館 〈健〉健診ホール
〈温〉温水プール 〈ふ〉ふれあい公園PG場

- 1日(日) 【休日当番病院】美幌 こばやし内科クリニック ☎73-3356
津別峠展望施設開館
- 2日(月) 特設なんでも相談所 〈役場 中ホール〉
- 8日(日) 【休日当番病院】津別病院 ☎76-2121
危険物安全週間 (7日間)
- 9日(月) 献血移動車来庁
- 10日(火) 献血移動車来庁
- 15日(日) 【休日当番病院】美幌町立国保病院 ☎73-4111
- 20日(金) よろず相談 午後1時～3時 〈役場 中ホール〉
- 21日(土) リサイクル回収 午前9時～11時まで
ウッドロスマルシェ開催
- 22日(日) 【休日当番病院】女満別中央病院 ☎74-2181
消防演習 午後1時～ 〈津中グラウンド〉
- 23日(月) 乳幼児相談会 〈健〉
- 29日(日) 【休日当番病院】美幌町立国保病院 ☎73-4111

人の動き

令和7年4月末現在
()は前月比

人口 3,930人(+18) 世帯 2,131戸(+17)
男性 1,938人(+12) 女性 1,992人(+6)
高齢化率 46.08% 1,811人

メール配信システム「ささえねっと@つべつ」への登録をお願いします！

町の防災情報など大切な情報をお届けしています。

メールの登録方法

①QRコードから登録



②t-tsubetsu@sg-p.jp(メールアドレス)を入力し、空メールを送り登録

LINEの登録方法

QRコードから登録



※詳細は、町のホームページをご覧ください。



問い合わせ先
防災危機管理室
☎76-2151

【222】機械仕掛けの太陽

これは、医師であり小説家である知念実希人の本の題名である。医療従事者から見た新型コロナウィルスとの戦いを題材にした医療小説で、コーナーに置かれていたので買ってみた。

物語は、子どもをもつ女性医師、商社に勤める男性と結婚を考える女性看護師、そして医者の子をもつ高齢の町医者が三者三様に、変異をくり返すコロナウィルスに翻弄されながらも向き合う物語である。感染に怯えながら、争ってワクチン接種に列をなしたあの当りが思い出される。

たてよこプラス



町長 佐藤多一

さて、かつて町立だった特別養護老人ホームを、社会福祉法人恵和福祉会に譲渡して早10年が過ぎた。この「いちいの園」は、町の開基百年記念事業の一つとして、約5億円をかけ昭和58年1月に完成した。しかし、42年の歳月を経て老朽化が進んだ。そのため、法人は今年設計に着手し、令和8年と9年の2カ年で、ケアハウス横に移転新築することとしている。

現在の「いちいの園」は、多床室で扉もない。当時は開放的なものだったがに違いないが、コロナ禍では不都合が生じた。入所者はもとより、そこで働く人たちの家族・親戚が感染の危機に陥る。実際クラスターと呼ばれた集団感染が全国で発生した。

現在計画されている新しい特養は、すべて個室とされている。高齢者にとって感染症は怖い。そして、そこで働く人たちとその家族の安全安心が確保されなければならない。その対策の一つとしても個室化の意味は大きい。